

# 輪合村新聞

NPO法人  
輪合村発行  
20210422  
編集長  
カウル  
グルジャンヌ

## 2030年に向けて輪合村SDGs

### 津市の食と農を考える

【NPO法人輪合村の環境対策への取り組みが始動】  
SDGsの17の目標を軸に「食と農」への変革と推進。  
輪合村農園として有機栽培の体験と報告、有機園場の  
拡大・推進に向けて市民や行政へ提案をしていきます。



輪合村農園の様子4月11日撮影



### 輪合村会員募集中

【津市民と企業のみならずへ】  
私たちと一緒に、楽しく真剣に  
これからの未来や食と農につい  
て取り組んでいきませんか？  
津市民以外のすべての日本国民、  
世界中の方と一緒に地球環境だ

輪合村農園長から、畑の様子をお  
届けします。暖かくなり、畑の草  
も一気に伸び始めました。現在、  
農園には、ニンニク、いちご、そ  
ら豆、ブロッコリー、キャベツ、  
人参、ごぼうなどの野菜から、も  
ち麦、大麦、スペルト小麦など、  
多品目が共存しております。先日、  
収穫できるものは収穫を済ませ、  
育った苗を迎え入れる準備を進め  
ていきます。4月に入ってから、  
株周りの草を刈り、株本に敷いて  
草マルチにしています。草マルチ

### 有機栽培とSDGs「食と農」

きます。大根や白菜、赤カブの種  
のさが段々と大きくなり、パリ  
パリに乾燥するまで見守りながら、  
植物界の生命の循環を楽しく学ば  
せていただきます。こうして無農

けでなく、貧困や差別の国際協  
力など、多くの目標に取り組ん  
でいきます。きっとあなたが「ジ  
ブンゴト」として意欲を持って  
取り組めることがあると思いま  
す。一緒に考え、行動してくれ  
る仲間を募集しています。詳し  
くはnpo.wagounura@gm  
ail.com(まい)連絡ください。

4月3日  
輪合村農園  
看板設置

4月22日  
輪合村新聞  
第1号創刊



### 4月の活動内容

4月9日  
放置竹林  
炭化作業  
(強風のため中止)  
農園の収穫  
作業に変更

4月24日  
海岸のごみ  
拾いと春の  
収穫野菜の  
ランチ会  
津市の海岸  
にて

薬栽培で育てることにより、それ  
をいただく人の健康はもちろんで  
すが、土壌やそこから流れ出る水  
による河川や海の健康も守られる  
ことは、とても大切なことであり、  
現在の環境変化、環境対策におい  
ても重要なことだと考えてい  
ます。SDGs目標17にあるよ  
うに、これらの問題は、市民や企  
業、行政がそれぞれ「ジブンゴト」  
として、できること、興味のある  
ことから、サステイナブル(持続  
可能)な取り組みをやっています。  
提案していきましょう。  
(輪合村農園長・太田博子)

### 環境再生の鍵は炭

とする微生物が増え、分解し放出  
された栄養素により、さらに健康  
な土壌へと成長していきます。自  
然の営みに逆らわない、自然から  
学ばしくみを市民のみならずも  
シェアしていきたいと思えます。

輪合村では、放置竹林の伐採にも  
取り組み、その伐採した竹を炭化  
させ、その炭化させた炭を土壌に  
還元しています。「炭II炭素」を  
土壌に貯留することにより、地球  
温暖化の緩和にも貢献することが  
できます。国連IPCCは、炭素  
を貯留することは、二酸化炭素を  
除去する戦略として「高く信頼で  
きる」と言及しています。そして、  
有機農法により、土壌が健康であ  
るといことは、その土壌を住処